

キャラクター名  
三峰

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ウロボロス	ワークス	高校生	カヴァー	狼
オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	無知	衝動	解放	初期侵食率	41%
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	実験体	邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	40
肉体	4	1	3	1		9	行動値	10
感覚	1	0	0	3		4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	10		交渉		
回避	2		知覚	1		意志	2		調達		
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
コンセ・本能・影	RC	14r+10		4		浸食値+5、完全獣化前提、100%未満
↑+スタダ	RC	14r+10		-1		浸食値+12、範囲:シーン(選択)、同上
100%以上ver	RC	15r+10		5		浸食値+5、完全獣化前提
↑+プラズマカノン	RC	15r+10		25		浸食値+11、同上

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス 傍らに立つ影P		N		
立花今日子	P 尊敬	N 劣等感		
立花閻千代	P 尽力	N 悔悟		
銀千狼	P 親近感	N 隔意		
燐	P 執着	N 脅威		
継ぎ接ぎ師	P 執着	N 不信感		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv(下限値7)							
魔獣の本能	★	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	【肉体】でRC判定							
原初:妖精の手	2	5	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	ダイス目ひとつを10に変更、1判定1回、シナリオLv回							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	【肉体】判定D+(Lv+2)個、アイテム使用・装備不可							
背徳の理	2	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	相手にHPダメージを与えた場合、シーン中ウロボロスエフェクトを組み合わせた判定D+[Lv×2]個							
原初の赤:スターダストレイン	3	7	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果:	攻撃力-(20-Lv×5)(最大0)、シナリオ1回							
原初の黒:プラズマカノン	3	6	メジャー	視界	単体	対決	100%	
効果:	攻撃力+[Lv×5]							
飢えし影	2	1	メジャー	視界	-	対決		
効果:	攻撃力+[Lv+2]							
幻想の獣王	3	4	マイナー	至近	自身	自動	120%	
効果:	ダメージ+[Lv]D、シーン終了・マイナーで効果解除までリアクションを放棄							
原初の紫:支配の領域	3	7	オート	視界	単体	自動		
効果:	ダイス目ひとつを1に変更、1判定1回、シナリオLv回							
魔獣の咆哮	5	2	オート	視界	単体	自動		
効果:	対象の判定D-Lv個、ラウンド1回							
原初の白:波紋の方陣	2	5	オート	視界	単体	自動	80%	
効果:	対象の受けるHPダメ-[Lv+1]D、自分対象外、ラウンド1回							
ビーストロア	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	《魔獣の咆哮》直前に使用、その効果にくわえさらに-5D、シーン1回シナリオLv回							

ふさふさの毛並の二ホンオオカミ。美しい毛並みを持ちともかくにもふもふも。どこか荘厳さを感じる佇まいで見た目にたがわぬ堂々とした言葉を話す。本体?は小柄で内気な高校生。本体モード(便宜上「蒼衣」)ではとにかくシャイでろくに話さない。基本的に「三峰」と呼ばれており、本人もそれを推奨している。

小学生の頃にどういわけかFHに攫われ長年実験体となっている。昔の記憶はかなり曖昧で、家族のことやいつオーヴァードに目覚めたかは勿論外の世界についての記憶もあやふやになっている。実験の関係もあるが人見知りが激しく臆病な自分から目を背けたい願望もあり大抵の時間を狼として長年過ごしていたため、自分と「狼」の境界がかなり曖昧でもう狼の方が自分の本当の姿なのではないかと思っている。ちなみに狼状態で光に当たるとぼんやり青く光っているように見えることから本体時の名前を取っている。本名は本人も忘れた様子。

《幻想の獣王》を使うことにより「大口真神(おおぐちまがみ)」として君臨する。また《妖精の手》使用の際、狼の群れの影(アヴァター)が走り抜けていき、支援を行う。

メモリー:キラービースト 親近感

